

TOPICS

1

岡山大学グリーンイノベーションセンターの看板除幕式を挙行



4月12日、岡山大学グリーンイノベーションセンターの看板除幕式を挙行了しました。当センターは、SDGs推進研究大学を掲げる本学が、地方創生、地域の脱炭素社会を支える人材育成と技術開発の拠点として、4月1日に新設したものです。

除幕式で榎野学長から、「木造建築・林産業の振興事業、地域企業のDX化をけん引する事業などの組織・団体の垣根を超えた協働事業を展開し、脱炭素社会・地域循環共生圏・地方創生の実現に資することを期待する」との激励の言葉がありました。

SDGs未来都市である真庭市を中心とした県北地域の林業・木材産業とも連携する「木造建築・林業・サプライチェーン部門」と、林産業における情報インフラ構築を技術的に支援するとともに、中四国地域を視野に入れた地域のDX人材育成を担う「グリーンbyデジタル部門」の2部門により、地域ゼロカーボンの推進と地域循環共生圏の実現に向けた新たな事業モデルを発展させることを目指します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11137.html



TOPICS

2

「デジタル田園健康特区」事業構想等を通じた地域課題解決の先駆的モデル構築に向け、吉備中央町と連携・協力に関する協定を締結

4月13日、吉備中央町と、広範囲な地方創生及び人材育成並びにSDGsの達成に寄与することを目指す連携・協力に関する協定を締結しました。

本学は、2021年1月、「心豊かな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現するという理念が一致したことから、「吉備高原都市スーパーシティ構想」推進協議会にリードアーキテクトとして参画。以降、同協議会において本学も議論に加わり、構想の検討・立案が進められ、3月10日には、内閣府の国家戦略特別区域諮問会議において、全国初となる革新的事業連携型国家戦略特区「デジタル田園健康特区」に指定されました。

これを受け、今までの実績と信頼関係を基盤に、より緊密かつ組織的な連携・協力体制をとることにより、デジタル田園健康特区における事業構想等をはじめとした、広範囲な地方創生・人材育成・SDGs達成を推進するため、協定を締結することとなりました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11133.html



Pick up!

保健管理センターワクチン対策室さくらルームを開設しました



4月11日、津島キャンパスの大学会館に「保健管理センターワクチン対策室さくらルーム」を開設しました。セレモニーでは、新型コロナウイルス対策本部統括副本部長である那須保友理事(研究担当)・副学長から運営スタッフに対する激励のあいさつがありました。

本学では3月15日から、津島キャンパス第二体育館を会場として3回目の大学拠点ワクチン接種を行ってきました。さくらルームの開設により、ワクチン接種に特化した会場を長期間設置できるため、十分な感染対策をとることができ、1、2回目の接種時期が遅かった方にも接種の機会を提供することが可能となります。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11130.html



TOPICS

3

令和4年度岡山大学入学式及び大学院入学式を開催

本学は4月2日、令和4年度岡山大学入学式及び大学院入学式を岡山県総合グラウンド 体育館(ジップアリーナ岡山)で挙行了しました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、午前(学部新入生)・午後(研究科新入生)の二部制とし、入学生と学内関係者のみで執り行い、式典の様子は、YouTubeでライブ配信を行いました。

榎野博史学長は、学部・大学院生ら計3,412人の新入生に向け、次世代リーダー・グローバル・サミット「One Young World」が昨年発行した書籍「WE HAVE A DREAM」の中から夢と目標の違いについて紹介し、『『未来のありたい姿』という夢を他者と共有し、その実現のために必要な目標を考え、勇気を持って積極的に行動を起こしてください』と新入生を激励しました。新入生を代表して、午前の部は、工学部の森礼喜さん、午後の部は、法務研究科の藤原新汰さんが宣誓しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11085.html



TOPICS

4

教育学部の温井綾香さんがボランティア表彰を受賞



教育学部養護教諭養成課程4年生の温井綾香さんが、独立行政法人国立青少年教育振興機構からボランティア表彰され、3月24日に教育学部本館において、表彰状授与式を行いました。

授与式では、高藤佳明国立吉備青少年自然の家所長から、温井さんに表彰状の授与が行われ、温井さんは、「卒業後もボランティア活動を続けていきたい」とあいさつを述べました。

温井さんは、1年生の時から、国立吉備青少年自然の家において、「チアフルデー」や「キビキビ通学合宿」などの教育事業にボランティアとして積極的に参加し、勉強とボランティア活動を両立しながら、これまでに延べ42日活動したことが、他のボランティアの模範になると判断され、その功績を称え、表彰されたものです。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11091.html

PRESS
RELEASE武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン
追加接種(3回目接種)後副反応調査～中間報告～

武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)後副反応調査を実施しました。中間報告では、3月16日～4月11日の間の調査回答分を集計しました。岡山大学に所属する教職員及び学生で、初回接種(1～2回目接種)で武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチンを接種した後、3回目に岡山大学拠点接種にて同ワクチンを接種した1256人が回答しました。(回答割合は約34%)

接種後の副反応については、以前行った大学拠点接種における武田/モデルナ社製ワクチン初回接種後副反応調査の2回目接種後の副反応と比較し、局所反応・全身反応とも副反応出現割合は減少していました。3回目接種後の副反応は接種翌日まで続いた割合が最も高く、接種3日目以降まで持続する割合は低くなっていました。また、年齢別の比較では、年代別の回答者数の多寡により影響を受けていましたが、年齢が若いほど、発熱の出現頻度が高くなっていました。ほとんどの人が自発的に3回目接種を受けており、過半数を超える人が身近な人にも接種を勧めると回答しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id958.html



頼藤教授

